

# 令和2年度第2回初級講習会



## 報告

令和2年度、第2回初級講習会を、11月7日(土)、12日(木)～13日(金)、17日(火)、19日(木)～21日(土)にわたって7日間開催しました。

参加者は、各先生方の内容の濃いお話を熱心に聴き、充実した講習会になりました。講習会を通して、提供会員として活動するための基礎的な知識や技能を身に付けることができました。

## 講習会の様子

### 救命講習

胸部圧迫の仕方やAEDの使い方等について、大変分かりやすく丁寧に教えていただきました。器具を使って実際に練習することで、より実践的な救命法を学ぶことができました。小児・乳児の救命処置も取り上げていただきました。

中央消防署 職員の方



### 保育のこころと事故防止

子どもの各年齢における心身の発達とそれに応じた接し方や援助の仕方について、たくさんの資料や実演等を通じて詳しくお話していただきました。手作りおもちゃの作り方や遊び方も紹介していただきました。

松山市保育・幼稚園課 職員の方



## 子どもの心の発達とその問題

子どもの発達段階とその対応の仕方、効果的なコミュニケーション等について、わかりやすくお話していただきました。特に「傾聴」することや「わたしメッセージ」を伝えることの大切さについて学ぶことができました。

えひめ子育てサポートラボ ほっこりん主宰  
玉井 利恵 先生



## 子どもの栄養と食生活

生涯発達と食生活、朝食と学力・体力等のお話を通して、食事の大切さを具体的に話していただきました。また、バランスよく食べることの大切さについても詳しく教えていただきました。

管理栄養士 今川 弥生 先生



## 障がいのある子どもへのかかわり方

障がいのある子どもへのかかわり方について具体例を交えてわかりやすくお話していただきました。特に子どもがパニックを起こした原因を感覚過敏等、様々な視点から推察することの大切さを痛感しました。

あゆみ学園児童発達支援管理責任者  
今村 高博 先生



## 介護のこころ

認知症や白内障、補聴器等について具体的に分かりやすくお話していただきました。「寄り添う」「否定しない」ことの大切さも教えていただきました。ユーモアあふれるお話の中に、先生の優しさ・心の温かさを感じました。

介護福祉士 杉本 詠二 先生



## 病気のときの世話と食事

二日間にわたって、子どもの病気の症状と見方、病気の時の食事、体調の悪い子どもの世話・遊び等について、丁寧に分かりやすくお話しいただきました。援助活動はもちろん、日常生活においても参考になるお話でした。

石丸小児科 副院長 中野 博子 先生



## 子どもの病気と対処法

発熱時、嘔吐や下痢をした時、痙攣をおこした時の対応について、また、感染症について具体的にお話しいただきました。専門的で難しい内容をわかりやすくユーモアを交えて説明していただき、多くの知識を得ることができました。

石丸小児科 院長 中野 省三 先生



## 家庭の看護

看護についての基本的なことを分かりやすくお話していただきました。脳障害、怪我、誤嚥、熱中症、けいれんについて、症状や予防の仕方、具体的な手当の方法等について、多くのことを学ぶことができました。

日本赤十字社 荒木 美喜 先生



## ファミリーサポートセンター 「援助活動のしくみとルール」

## アドバイザーによる面談・修了式

ファミリーサポートセンターのアドバイザーから、「援助活動のしくみとルール」について具体的に説明を聞いた後、提供会員としての今後の活動について、アドバイザーと話し合いました。

その後、会員証を手にした参加者の皆さんは、研修会を終えた充実感と今後の活動に対する希望に、目を輝かせていたように感じました。



【アドバイザーとの話し合い】



### 参加者数

7日間、12講座 のべ 96人



### 提供会員資格取得者数

育児・介護 両方	1人
育児のみ	3人
介護のみ	4人